

生物多様性総合評価報告書案に関する論点

1. 評価の概要（案）について（資料 2 - 2）

新たに序章と第Ⅳ章の内容から作成した。本報告書の目的上、重要な部分であり、文言まで含めてご検討をいただきたい。

2. 評価の総括（第Ⅳ章）、今後の課題（第Ⅴ章）について（資料 2 - 3）

座長と委員のご意見を踏まえて、主に以下の点を修正したので、ご検討いただきたい。

（1）評価の総括

- 第 1 節と第 3 節の関係を再整理した（資料 2 - 3 - 1）
- 第 1 節で対策について言及や生態系サービスの事例を追加
- 第 2 節 2010 年目標で評価の考え方、評価結果を一部修正
- 第 3 節は再構成し、生物多様性の主流化などを追記

（2）今後の課題

- 観測の重点化、生物多様性の主流化（特に地域）の観点を追記

3. 報告書案（序章～第Ⅲ章）の細部について（資料 2 - 4）

（1）有識者意見照会の結果の反映

- 有識者の意見 430 件のうち、論文や行政の報告書等の根拠を見つかることができたものなど 274 件に対応した。
- これらを含め、前回からの修正箇所は、報告書案中に見え消しで示してある。

（2）図表の選択

- 記述の根拠として採用した 110 データを、以下の基準で選択し、報告書中に図表として収録したい。
- 現在、暫定的に、59 のデータを単独であるいは組み合わせて 52 の図表候補として報告書に入れてある（参考資料 2 参照）。
 - ・損失の要因や状態を的確に示しているもの。
 - ・今後継続して時系列データが得られるもの。
 - ・1つの指標につき 1～2 データを原則とする。
- ご議論いただいたものについて、体裁を整えて

（3）データと出典の整理

- 110 のデータの全ては図表として採用できないが、採用されないデータについても文中に番号を残し巻末にデータの一覧を掲載することとした（表中に出典も併せて掲載する。必要に応じて計算方法等を示すことを検討。）。
- 110 のデータ以外の出典はとりまとめ中であるが（巻末）、文中の該当箇所に表示することとする。

以上